

首切り浅衛門

。コツ通りへ史跡巡りでいらつしやる方は回向院の首切り場のような言い方をされますが、回向院はあくまでも死者の冥福を祈る為の寺で、刑場は現在の貨物引込線から都パスの車庫にかけての土地がそれです。ですから、埋葬地である寺側の常盤線の下から骨が多く出てくるのではないのでしょうか。

史跡という言葉は、亀川先生の調査によると、回向院の現住職の祖父である水野了仙さんの前の住職川口巖考さんが、「古跡」という表現を明示20年代の日本国有鉄道株式会社と東京府との墓地移転の時使用したのが、一番早いことが判りました。

また、寺院内が今のように整備されたのは第二次世界大戦の真つ最中の昭和8年〜17年であることが烈士遺墳再建碑の碑文から読み取れました。先代の川口巖考住職の努力が大きかったから回向院は現在史跡となつたのです。回向院は昭和47年の本堂新築の時に二階に展示室を造り、そこに首切り浅衛門の刀が展示されていましたが、今は公開されていないようです。

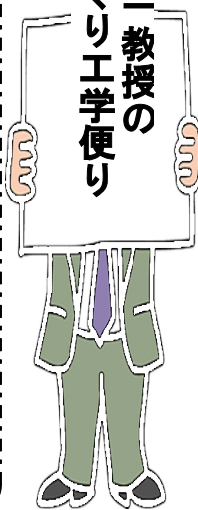
☆六郎が語る☆ 南千住一口話 特別編 第49回

首切り浅衛門は山田浅衛門と言い、明治14年（1881）に斬首刑が廃止になるまで江戸元禄（1688）より八代続いて首切り役人を受け持ち、六代が吉昌、七代吉利が吉田松陰・橋本左内の首をはね、八代吉亮が高橋お伝の首をはねました。薩摩の示現流と同じ居合術で山田流といい、主に大名方の新刀の試し切りを行っていました。『一胴落し二胴落し切り手小野勘十郎 三胴落し切り大和守安定』と記録されています。

※ 死体を横たえて積み重ねて新刀の試し切りをしました。三胴とは三体重ねた状態を言います。
※ 小塚原刑場（明治6年1月1日廃止）江戸時代、鈴ヶ森と双壁をなすお仕置き場（処刑場）

平成16年8月の記事を再掲載致しました。

吉田喜一教授の ものづくり工学便り



54年前に美浜原発1号炉の炉心に入った!!

産技高専名誉教授 吉田喜一

1968（昭和43）年3月、旧都立航空高専・機械工学科を卒業し、当時の通産省に技官として入りました。主に外国からの技術導入の審査にかかりました。外国技術が日本に入ると、経済的、社会的にどういう影響が出るか、を調べる仕事でした。たいへんやりがいがあり、機械工学科の卒業ですが、経済と法律の勉強をたくさんすることができました。

その年の初冬に、今話題になっている、福井県・敦賀の美浜原発1号炉の、建設途中の視察をすることができました。階段を下りて炉心を見ることができました。巨大な構造物でした。説明員の方は、今でいう“安全神話”を相当詳しく話してくれました。

“絶対安全”という概念はあり得ないのに、関電は“安全”を、今思えばオウム真理教のように繰り返していました。



大阪下町のサイクリング&堺の温泉銭湯の旅

消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。2月15日、久しぶりに日帰りLCCの旅を楽しんできました。今回は、成田空港〜関西空港の往復です。関西空港駅から乗車した南海線を天下茶屋駅で下車し、レンタサイクルに乗って大阪の下町を散策しました。大都会のローカル線「南海汐見橋線」の線路に沿って走ると、古びた小さな駅、踏切脇のお地藏さん、屋根のある商店街、長屋住宅、駄菓子店、のんびり散歩するお年寄り…とのんびりした時間が流れています。狭い路地を進み、輪ゴム工場、下水処理場、大きな公園、木津川の堤防、自転車いっぱいに空き缶を積んだおじさん、家並みの向こうに高くそびえる超高層ビル「あべのハルカス」…何となく東京のどこかで見た風景のような、不思議な感覚です。

木津卸売市場で自転車を返却し、通天閣に程近い恵美須町停留場から大阪唯一のチンチン電車・阪堺線で堺市内へ向かいます。東玉出停留場からは道路上に敷設された併用軌道となり、車とすれ違いながら住吉大社の前を通過。再び専用軌道区間に入り、新旧の電車が休んでいる車庫を左に見て、土手を駆け上がり大和川の鉄橋をゴトゴトと渡ります。ここから堺市。神明町停留場で下車し、お目当ての銭湯「トキワ温泉」に到着です。通常料金¥490ですが、コロナ対策で静かに「沐浴」ならぬ「黙浴」を約束すると¥450におまけしてくれるというサービスがいかに大阪らしい。脱衣場からうっかりマスクを外さずに浴場内に入ってしまった、常連さんと思しき方に笑われてしまったのはここだけの話です。街中にありながら天然温泉のかけ流しで、微かに硫黄の香りが漂い、良く温まる評判通りの銭湯でした。

コロナウイルスや天候の状況により、急きよ営業時間を変更させて頂く場合がございます。当店の最新情報は、公式ホームページ、Twitter等で発信しております。ホームページでは過去6か月の当コラムも掲載しております。ぜひご覧下さいませ。



■メガネのサトウ■ <https://megane-satoru.com>
南千住5の43の13【東京新聞並び】
TEL 03(3806)4930

★休業日のご案内★
2月〜3月 …毎週火曜日は、定休日です。

★営業時間のご案内★
平日（月〜金）…午前9時〜午後6時30分
土休日：午前10時〜午後5時